

17 第2次中期財政計画の進捗状況

第五次総合計画の実現に必要な財源を確保しつつ、中長期的に健全で持続可能な財政運営を図るため、平成24年度に第2次中期財政計画（計画期間：平成25年度～平成29年度）を策定しました。

平成27年度の実績は次のとおりです。

1 平成27年度の収支状況

（単位：億円）

計 画 値	収 入	899.7
	支 出	904.0
	差 引	△ 4.3
実 績 値	収 入	984.9
	支 出	949.3
	差 引	35.6

収入は、税率改定の影響による地方消費税交付金の増加（計画値+29.5億円）、前年度繰越金（計画値+27.6億円）、個人市民税所得割の増加等による市税の増加（計画値+13.9億円）などにより、計画値を上回りました。

収入のうち市債の発行額は、建設事業債が増加した（計画値+7.3億円）一方で、臨時財政対策債の発行額を縮減した（計画値△13.0億円）ことにより、計画値に比べ5.7億円減少しました。

支出は、小中学校普通教室空調機設置工事等の事業追加による投資的経費の増加（計画値+16.6億円）、財政調整基金積立金の増加（計画値+13.0億円）などにより計画値を上回りました。

2 目標達成への進捗状況

① 一般会計の実質収支の黒字を堅持する。

【実質収支】

（単位：億円）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計 画 値	△ 14.7	△ 12.7	△ 4.3	△ 4.4	△ 0.3
実 績 値	30.7	25.6	30.3		

※実質収支とは、「収入－支出」から「翌年度に繰り越すべき財源」を控除したものです

② 平成29年度末の全会計の市債残高を平成24年度末残高より100億円以上削減する。

【市債残高】

（単位：億円）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	削減額
計 画 値	1,502	1,501	1,475	1,462	1,441	1,414	88
実 績 値	1,499	1,473	1,438	1,411			88

③ 平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率を改善する。

【財政健全化判断比率】

（単位：％）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
将 来 負 担 比 率	82.0	78.4	71.5	60.4			70.0
実 質 公 債 費 比 率	8.2	8.0	7.6	6.3			6.0